

# 二条たかお 後援会だより

## 二条たかお二期目に向けて

2011年 春号

二条たかお  
後援会事務局  
大町市幸町5318-4  
Phone 0261-22-2263

私はこの4年間 大町がこんなまちになればという思いを掲げてきました

# 無限の可能性のある大町 日本中の人たちが住みたくなる 大町をめざして

### 「大町は山と水」

4年間の議員活動を通してあらためて大町の無限の可能性について確信をしました。徳島県上勝町 四国徳島県の山々に囲まれた小さな町です。標高が1000mから700mとまさに坂ばかりの町であります。人口の減少が著しく町の人も「役場の人間は何をしているんだ」子供に「もっと勉強しなければこの町にいるはめになるぞ」と言うくらいでした。そんなところへ徳島市から農協の経営指導員が来ました。彼は葉っぱで町おこしを考えました。最初は「葉っぱはゴミだ。何でゴミを拾って商売するんだ。」「日本中葉っぱだらけだ、商売にはならない。」町の人たちの非難ばかりでした。しかし、葉っぱを、食事を飾る「つま」として、今上

勝町は葉っぱで全国に有名になり、大忙しになっています。大町はどうでしょうか。磨けば光る宝の宝庫です。その宝をまだまだ見いだせないでいます。私は大町がこの葉っぱに変わるものとして「山と水」を上げています。日本中、山だらけ、富士山の名水を始め日本中、水が豊富です。しかし私はこの「山と水」を使って町おこしが出来ると確信をしています。この地には年間300万人に人が訪れていきます。全国でも恵まれた地域です。まさに無限の可能性がある大町です。だから「まちづくり」もやりがいがあります。



# 具体的な施策

## 基本方針

### 1 北アルプス山麓教育都市構想 頭脳都市再生

- 教育のまちづくりの推進
- 教育特区による小中一貫校の新設
- 高校再編による大町新校の国際化に向けた取り組み

### 2 大町物語の構想

#### 中心市街地再生

- 大町再生支援まちづくりの会を中心にした活動の継続
- 駅前拠点の活用と軽トラ荷車市の継続
- 大町情報発信ネットによる「まるごとおおまちポータルサイト」の拡充
- 大町物語の構想とイベントに頼らない中心市街地の活性化



さまざまな価値観を認め合うための国際的な感覚を養うべく新校には国際化をコンセプトとした学校目標としてとりいれてほしい。新校卒業生には、地域の貢献する人材育成は勿論日本全体で活躍する人材を育成してほしい



大町物語を創造し中心市街地の活性化を

### 3 森のまちづくり構想

#### 木々群生の再生

- 地域ブランドの構築と統一景観の推進
- 菜の花、芝桜等の木々群生の再生
- 中心市街地を森の中の街並みに



にぎわう荷車市

### 4 観光と産業経済の

#### ジョイント構想 農業中小企業の再生

- 観光産業戦略室設置による総合的な交流人口の拡大

### 5 福祉医療の充実と

#### 子育て支援構想

## 緊急課題として

### 地元企業の育成と

### 雇用の創出

### 高規格道路の早期開通

# 二期目の立候補を決意しました

## 二条たかお です

早、私が市議会議員となつて4年が経とうとしていきます。この間、大勢の皆さんに支えら議員活動をしてまいりました。議員になって様々な体験をしました。その中で、一番感じたことは市民の税金で市議会議員の報酬が出ていることとの責任の重さであります。市議会議員は行政のチェック機能であることは言うまでもありません。しかしそれだけではありません。大事なものは市民の中に飛び込みリーダーシップをとることだと思えます。それが報酬をいただいている市議会議員の大きな役割と責任です。市民の皆さんが身銭を切り、地域のためにボランティア活動をしている中で、市議会議員がどんな形で支えて行くかです。しかし、支え方には、様々なものがあります。

ただ単に、支えるのではなく議員が先頭に立って活動を進めて行くことが市民から求められていると思います。市民の皆さんがボランティア活動に疲れ果ててしまっています。それぞれの活動の継続はとても難しくなっています。それはどういうことか、市議会議員がその活動に対して支える立場だけになるのではなく、その活動の責任をとる立場になって行かなければならないということです。つまりそれなりの役職を背負って活動をして行くことを意味しています。3万人を切った大町市において、そのような役割を市議会議員が求められるて行くのは時代の逆行ではなくむしろ当然のことです。今、議会基本条例が出来る、市議会議員の兼業規定が

見直されています。確かに分かります。しかし、市民の視線や要望がどこにあるのか、それぞれの地域によって時代の流れだけでは片づけられない複雑なものがあります。私は、3万人を切った大町市において、市民の思いは、要望がどこにあるのかしつかりと耳を傾けながら、今後も議会活動をして行きたいと思えます。

二期目に向けて  
頑張ります。



# 二期目の信条

大町再生

1 創ろう

未来の大町を

2 育もう

明日の子供たちを

3 守ろう

今日の生活を

どうかご支援を

お願い致します

# 様々な提言を行ってきました

## 過去の一般質問の要旨です

# 今の生活を守る

今、大町市は3万人を割り込んでいます。人口対策と雇用の確保が直近の最大の課題になっています。「明日の生活をどうしたらいいのか、どう生活をして行ったらいいのか」そこまで追い込まれていると言っても過言ではありません。大町にある既存の企業をどうやって守っていくか、真剣に考えなければいけません。地元企業が元気になってこそ大町の明日はあると思います。

この4年間の行政に対して主な質問を上げました。この質問を通して、私なりに様々な提言を行いました。この中で終始貫通していることは「今の私たちの生活を守る」ということです。



緊急経済対策と建設業の保護育成について  
二條 孝夫

**質問** 土木建設業の倒産収益の急速な悪化について市として、経営面や雇用面の実態をどのように認識しているか。

**回答** きわめて深刻に捉えている。地域住民の雇用の受け皿として地域産業の中心的な役割を担っていること認識している。

**質問** 今回の緊急経済対策は、地域の中小企業が恩恵を受けられるような措置が講じられているのか。

**回答** 市としては、これまで国や県の経済・雇用対策と連動した新たな緊急経済対策として、市の事業で早期着工が可能なものうち、特に市内経済への効果が期待されるものや、翌年度以降に実施を予定している。



下水道工事にかかわる公共事業は

めの制度や県でも経営健全化支援金がある。今後、制度の周知に努めるなど、建設業の経営への悪影響を最小限にとどめることができるよう適切に対応する。

**質問** 下水道に代わる公共事業と今後の建設業の育成については。

**回答** 下水道に代わる公共事業は非常に難しいが、市として企業誘致など建設需要の掘り起こしをしていく。現在土木建設業に従事している人達が、この地で希望と誇りを持って安心して暮らせるよう、市民の生活基盤の整備を中心として「地域活性化・公共投資臨時交付金」などの緊急経済対策費を最大限利用して公共事業費の増額確保を講じていく。

質 問 項 目	質 問 要 旨
<p><b>1.教育都市構想について</b></p> <p><b>2.町並み景観について</b></p> <p><b>3.大町病院の今後のあり方について</b></p> <p><b>4.高規格道路早期開通について</b></p>	<p>(1)この大町は教育の地としての最適の地、教育の場としてのまちづくりは出来ないものか</p> <p>(2)教育都市宣言はできないか</p> <p>(3)高校再編も教育都市宣言の中での長期的かつ広域的な視野にたったあり方を考えるべき</p> <p>(1)大町らしさは「山と水」の基本コンセプトとした拘束力のある景観条例は出来ないか</p> <p>(1)先の県答申の中で、当地域の連携病院が外されたことについて</p> <p>(1)高規格道路が大町市のどこを通るかによってまちづくりが変わる。早く南の起点を</p> <p>(2)出来ない場合の今後の対策について</p>
<p><b>1.大町市の教育行政について</b></p> <p><b>2.中心市街地への行政の取り組みについて</b></p>	<p>(1)ゆとり教育の見直しと学力低下について</p> <p>(2)全国学力・学習状況調査について</p> <p>(3)今後の特徴ある教育行政について</p> <p>(1)市の今までの中心市街地の取り組みと今後について</p> <p>(2)県との連携について</p> <p>(3)中心市街地と他の観光の結びつきについて</p> <p>(4)イベント課の設置について</p> <p>(5)メインストリートプログラムの取り組みについて</p>
<p><b>1.特徴ある教育行政について</b></p> <p><b>2.大震災後の対応について</b></p>	<p>(1)高校再編について</p> <p>(2)小中学校の統合について</p> <p>(3)通学区の変更について</p> <p>(4)教育特区による小中一貫教育について</p> <p>(1)この地域での大地震災害の最悪のシナリオについて</p> <p>(2)震災後の初期対応について</p> <p>(3)ボランティアの受け入れについて</p>
<p><b>1.市民の身近な市政について</b></p> <p><b>2.合併の検証と今後について</b></p>	<p>(1)「市民参加と協働のまちづくり」推進基本指針について</p> <p>(1)合併による旧市村の声は</p> <p>(2)合併の意義と地域の振興について</p> <p>(3)近隣町村の合併について</p>

質 問 項 目	質 問 要 旨
<p>1.緊急経済対策と建設業の保護育成について</p>	<p>(1) 市内企業の倒産状況について、市の認識は                      (2) 緊急経済対策の検証と問題について                      (3) 建設業のセーフティネットについて                      (4) 建設業の保護育成について</p>
<p>1.大町市の観光行政について</p> <p>2.国の予算編成における大町市の影響について</p>	<p>(1) 交流人口の現状と課題                      (2) 産業観光の育成について                      (3) 統合観光戦略室の設置を                      (4) 統一理念の構築について</p> <p>(1) 国の補正予算による影響は                      (2) 来年度予算編成に向けての影響は                      (3) 今後の松糸道路や国営公園の整備について</p>
<p>1.市における定住対策について</p>	<p>(1) 企業誘致と地元企業の育成について                      ①現在の雇用状況について                      ②企業誘致の進捗状況について                      ③地元企業の育成について</p> <p>(2) 空き家対策について                      ①空き家調査のその後について                      ②公営住宅の入居条件について                      ③民間団体による移住サポート活動育成支援について</p> <p>(3) ふるさと納税とふるさと応援団について                      ①特徴ある応援団組織について</p> <p>(4) 定住促進のための条例について</p> <p>(5) 情報網の整備について                      ①テレビ・ラジオの難視聴地域について</p> <p>(6) 総務省による定住自立圏構想について</p>

